

# 担当する地域活動団体が目指している社会は？（活動の目的）

失われつつある自然の中、「ビオトープ」と人の関係を再構築する場で技術を学び広める活動。SDGsを意識した活動で、今後とも継続できる活動を目指している。

このギャップを埋めるために…

①どんな課題に取り組む活動をしているのか？

京都府から補助金の給付を受けて活動をしている。補助金がなくなってもNPO法人ビオトープネットワーク京都の活動ができる里山の活用方法を検討している。

②具体的な活動内容

里山の竹と食材をセットにしてインターネットで販売する企画を提案。里山を知ってもらうとともに、安定した収入が期待でき、活動資金に充てることを予定している。また、里山の食材を使った料理コンペの企画も検討している。ツイッターなどのSNSを利用し、里山を活用する企画を募集することも含めて検討中。

ギャップ

## 現状

社会へ貢献したいと考えている人いるものの、実際にボランティア経験のある人やNPO法人に対して関心のある人は少なく、若手の担い手が不足している。

- ・コロナ禍で課外活動をしたくてもできない学生が多い。
- ・京都府から補助金を受けて活動している。